

はあとふる



地域支援センター通信（猪苗代支援学校）

第3号 令和7年3月18日（火）発行

「共に」

教頭 佐々木 文枝

桜の開花が待ち遠しい今日この頃です。さて、地域支援センターでは、今年度も多くの出かける支援や来校相談支援、校内の保護者対象に「はあとふるタイム」の開催、地域の教員向けの研修等を行いました。その中で、「相談して良かった。」「また頑張ろうと思いました。」といった感想が寄せられています。

どの方も日々、大なり小なりの悩みを抱えています。悩みや心配事があるのは、生きている証拠とも言えます。悩みそのものはすぐに解決できなくとも、見方・考え方を少し変えるだけで、生きづらさが軽減されることもあります。誰かに話を聞いてもらえるだけで心が軽くなった、そんなお手伝いを今後もセンターで行っていかれたらと考えております。

さて、みなさんは、ヘレン・ケラーを知っていますか？私が小学生だったときに伝記本を読み、感銘を受けた人の一人です。アメリカで生まれ、生後1オウ7ヶ月のときに高熱が原因の病気を患い、「見えない」「聞こえない」「話せない」という三重苦を抱えました。7歳のときに出会ったアン・サリヴァン教師の深い愛情と献身的な努力によって、ヘレンは言葉や知識を見につけ、持ち前の好奇心の強さで挑戦を続け、ハーバード大学を卒業しました。後に社会福祉活動家として活躍し、障がい者の教育と福祉に尽くした方です。ヘレンは「光の中を一人で歩むよりも、闇の中を友人と共に歩むほうが良い。」と述べています。今後も保護者や地域のニーズに応じ、共に歩むことができるような存在でありたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

第3回 はあとふるタイム

今回は中学部の保護者の方3名が参加してくださいました。参加された保護者の皆さま、本当にありがとうございました。その中で話題になったことを紹介します。

【高等部卒業後の進路について】

保護者の方々が集まると自然と進路の話になるということを感じました。特に中学部に入学してからの時間の流れが早いと感じる保護者の方が多いようです。

高等部卒業後、どのような仕事が自分の子どもに合っているのか、どこで生活していくのか等について不安な保護者の方は多いと思います。生活リズムを整えることやお子さんが自分自身でできることを増やすこと等をしていくことで、将来の生活に幅が広がります。お子さんと進路について話をする機会を作ってみても良いかもしれませんね。



【教育相談のご案内】

地域支援センターはあとふるでは、年間を通して教育相談の受付をしています。御家庭での生活、進路、学校生活のことなど、お気軽に御相談ください。

【はあとふるタイムのご案内】

令和7年度のはあとふるタイムは、5月と10月の2回を予定しています。5月は授業参観日の午後、10月は卒業生の保護者の方をお招きして実施する予定です。多くの方の御参加をお待ちしております。

<令和6年度相談件数報告>

地域相談 144件 来校相談 20件